

山形県立寒河江工業高等学校の改築について

1 改築整備事業の概要

PFI事業により、発注者である山形県が、事業主体である寒河江工業PFI(株)に対し、設計・建設及び維持管理を一括発注し、長期契約したもの
(契約額約54億円、令和20年度末まで)

2 施設概要

- 所在地 寒河江市緑町地内（現在地での改築）
- 敷地面積 約45,000m²

	延べ面積
校舎棟（RC造2階建）	約9,300m ²
管理ゾーン 他共用部分 (校長室、職員室、事務室、普通教室、廊下・昇降口等)	約5,000m ²
特別教室ゾーン (大視聴覚室・図書室・産学協働ラボ・各実験室・実習室等)	約1,400m ²
産振教室ゾーン (機械科・電子科・情報技術科 各実習室等)	約2,900m ²
体育館棟（S造2階建）	約3,050m ²
計	約12,350m ²

※RC造：鉄筋コンクリート造、S造：鉄骨造

3 施設の特長

- ① 校舎を低層2階建てとすることにより、管理・特別教室・産振教室の各ゾーンや屋外スペースの一体感がある明るく開放的なキャンパス
- ② 低層のため、日当たりが良く雪が解けやすいなど積雪の影響を軽減するほか、近隣住宅地への日影、電波障害、騒音等の影響にも配慮
- ③ 校舎中央部に産学連携拠点(大視聴覚室・図書室・産学協働ラボ等)を設置し、工業団地に隣接する強みを活かした授業や実習を推進
- ④ 校舎棟の内装や構造への県産材の使用のほか、校舎中央部の図書室や昇降口は木造の天井を見せる構造とする等、柔らかく温かいデザイン
- ⑤ 再生可能エネルギーの活用による環境負荷の低減(木質バイオマス、地中熱、太陽光)

4 スケジュール

